

## 案件概要書

2012年9月7日

国際協力機構アフリカ部アフリカ第四課

## 1. 案件名 (国名)

国名： セネガル共和国

案件名： ファティック州教員研修センター建設・機材整備計画

(英) Project for construction and equipment of the regional teacher training center in Fatick

(仏) Projet de construction et d'équipement d'un Centre Régional de Formation du Personnel de l'Education (CRFPE) à Fatick

## 2. 事業の背景と必要性

## (1) 当該国における教育セクターの現状と課題

セネガルにおける初等教育総就学率は、2000年の67.2%から2011年には93.9%と飛躍的に上昇し、2011年の就学児童数は172万5千人に上る。就学率の向上が見られる一方、初等教育修了率はセネガル平均で66.5% (2011年) と低い数値が課題となっている。

初等教育就学者数の増加に対応するため、セネガル政府は、1993年に旧来の高等師範学校に代えて初等教育教員養成校を設立、1995年にボランティア教員制度を導入した。新制度では教員養成課程を4年間から6ヵ月間の教員養成研修に短縮し、研修を修了したボランティア教員が教鞭をとりつつ正規教員資格の取得を目指すこととなった。また、無資格初等教員は38% (2011年) となっており、初等教員の質の低下が顕著となっている。2011年の政令により、初等教員養成校 (EFI) の機能にこれまで現職教員研修を実施していた現職研修局 (PRF) を統合させ、教員養成と現職教員研修を一元化した州教員養成研修センター (CRFPE) の拡充が図られた。教員需要の拡大に対する有資格教員の育成及び教員の質の低下に対する現職教員の能力向上が求められており、初等教員養成校の新規建設は喫緊の課題となっている。

## (2) 当該国における教育セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

セネガル政府は、教育訓練開発の基本計画を定める「教育訓練10ヵ年計画 (PDEF)」を2000年に策定し、現在その第3フェーズにある。PDEFは、教育のアクセス、質、マネジメントの3本柱からなり、基礎教育の普遍化を目指すものである。初等教員の質の向上はPDEFの優先課題の一つとなっており、CRFPEの設立により当該州における教員の能力強化を図るとしている。ファティック州は人口64万人とセネガル国14州中7番目と中規模の州であるが、地方国家開発プログラムなど国の地方分権化政策のモデル州となっている。ファティック州教員研修センターは2004年に創設され、毎年約300人の研修を実施してきたが、近年は施設の老朽化により仮設教室にて研修を実施、一部研修教員はカオラック州にて研修を受けており、同研修センター建設の必要性は高い。

## (3) 教育セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

我が国は、PDEFに沿って、2000年以降、基礎教育、特に初等教育に係る協力を拡充してきている。初等教育総就学率の向上を受けて、今後は前期中等教育の占める位置づけが相対的に重要になるが、前期中等教育のアクセスが拡大する中でその質を保つためには、初等教育修了者の学習到達度を引き上げる必要がある。そのため、当面はミレニアム開発目標達成を念頭に、質・マネジメント改善の面では初等教育に重点を置いた協力を、アクセス率向上の面では初等及び前期中等教育に重点を置いた協力を展開することとしている。また、本事業は、TICADIV横浜行動計画における「基礎教育へのアクセスと質の改善」およびMDGsの「初等教育の完全普及の

達成」に寄与するものである。

具体的には、無償資金協力による教員養成校や前期中等教育施設の拡充、理数科現職教員研修を通じた初等教員の能力向上、学校運営委員会の機能化を通じた地方分権化の推進を協力の柱とし、それらの協力をもって、セネガル全土における基礎教育の質の向上に貢献する。ハード面においてもわが国の無償

資金協力により 2007 年に建設されたダカール州初等教育教員養成校は、施設や機材の品質が高く、耐久性が高い点がセネガル政府に高く評価されており、既存施設の老朽化の特に激しいファティック州教員研修センターの建設及び機材整備が要請された。

(4) 他の援助機関の対応

カナダ：セクター財政支援、初等教育新カリキュラム開発、学校給食プロジェクト

世銀：EFA-FTI触媒基金Iによる教室建設、教育の質向上プロジェクト

AFD：能力強化プログラム、ダカール州郊外中学校建設

その他：UNICEF（就学前教育支援）、USAID（中等教育支援）、イスラム開銀（学校建設）、アフリカ開銀（学校建設）、ドイツ（学校建設）

### 3. 事業概要

(1) 事業の目的

ファティック州において、教員養成研修センターを建設し機材を整備することにより、同州における新規教員数が増加するとともに教員の能力強化が図られる。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ファティック州ファティック市（詳細は別添地図参照）

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】管理棟、9教室、講堂、社会教育談話室、トイレ棟、浄化槽、倉庫等

【機材】プロジェクター、スクリーン、デジタルカメラ、スキャナー、生徒用机椅子、教育用図書、

定規、コンパス、地球儀等

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

同センターの校長・職員に対して施設及び機材の維持管理にかかる技術指導を行うことを想定。協力準備調査の結果に基づき、実施の要否を判断する。

3) 調達・施工方法

詳細は協力準備調査にて確認するが、被援助国（及び周辺国）の施工業者を活用する方針。

(4) 事業実施体制(実施機関/カウンターパート)及び実施能力・維持管理能力

国民教育省企画改革局が監督機関、総務設備局が実施機関となり、学校建設局及び学校機材局が技術的助言にあたる。また、ファティック州視学官事務所が同州内の関係機関との調整にあたる。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進：（協力準備調査にて詳細確認）

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：  
女子用・男子用トイレを別に建設。

(6) 他事業、他ドナー等との連携・役割分担

本教員研修センターは、技プロ「理数科教育改善プロジェクトフェーズ2」及び技プロ「教育環境改善プロジェクトフェーズ2」の対象地域であり、また教育分野の青年海外協力隊活動のファティック州における拠点となっており、本件の実施によりそれら技術協力との相乗効果も期待される。また、就学児童数の増加に対応すべく、EFA-FTI 触媒基金の一環としてドイツが同州内に 2013 年までに 213 教室を建設予定であり、本教員研修センターにおける教員養成との相乗効果も見込まれる。

(7) その他特記事項：特になし

#### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

##### (1) 類似案件の評価結果

- ・同国および周辺国におけるコミュニティ開発支援無償資金協力案件のうち、小学校建設もしくは教員養成校建設案件では、現地業者の能力不足、資材の不安定な供給状況などに起因して、一定の品質を確保すること、工期内に適切に工事を完了させることなどが困難なケースがある。
- ・また、同様に OA 機器を含む供与機材についても、流通が不安定であることに起因し、予定通り整備することが困難なケースがある。

##### (2) 本事業への教訓

- ・施工業者（現地業者）の選定にあたって、施工監理能力を十分精査するなどにより不適格業者の入札、落札を防ぐとともに、現地施工業者の能力、建設資材等の市場動向などを調査、把握したうえで、これらに配慮した設計、ロット分け、工期設置などを行う必要がある。
- ・機材についても、同様に市場における調達の実確性を事前に把握した上で、機種、数量などを検討する必要がある。

以 上

〔別添資料〕 案件説明図

案件説明図



プロジェクト州

